

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 子ども政策室												
	作成責任者	芦田 雅子												
	事業名	不妊治療費助成事業												
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	会計	一般会計	事業コード	430505	決算付属資料	144	頁
	施策体系	施策コード	050303	施策名	多様なライフスタイルの選択と健康づくりを支援する									
	開始年度	平成15年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市不妊治療費助成事業実施要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	不妊治療を受けている夫婦に対し、経済的、精神的な負担の軽減を図るため、その治療に要する費用の一部(限度額内)を助成し、子どもを望む希望がかなえられる。				
	対象者	不妊治療を受けている夫婦	対象者数	135	単位あたりコスト	76.8
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	対象者：市民であり、申請時点で1年以上京都府内に居住する夫婦 内容： ①一般不妊治療(医療保険診療、人工授精)に要した本人負担額に4分の3を乗じた額を助成(人工授精なし→年度内上限額9万円 人工授精あり→年度内上限額15万円) ②不育症等に要した本人負担額に4分の3を乗じた額を助成(1回の妊娠につき上限額10万円)				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
	賃金	臨時職員(看護師)	142			
	役務費	事業にかかる郵送料	2			
	委託料	健康管理システム改修	1,490			
	扶助費	不妊治療費助成金	6,105			
関連事業	京都府特定不妊治療費助成制度					

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	9,434	8,127	9,304	6,956	6,863				
		②補正予算	772	0	0						
		③流充用額			△ 1,518						
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越			0	0	0					
		次年度繰越		0	0						
	財源内訳(①④⑥内訳)	一般財源	7,883	5,465	5,232	4,682	4,623				
		国支出金	0	0	0	0					
		府支出金	2,323	2,662	2,554	2,274	2,240				
		地方債	0	0	0	0					
	その他特財	0	0	0	0						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	不妊治療等給付事業助成費補助金		種類	府支出金	実績金額	1,921	決算付属資料	24	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.79/0.02	0.4 / 0	0.32 / 0.01	0.32 / 0.01					
⑤概算人件費		6,370	3,200	2,585	2,585						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		16,576	11,327	10,371	9,541						
⑦執行額		10,206	5,752	7,739	0						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	70.8%	99.4%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		出生数(年単位)	人	725/800	727/800	661/800	/ 800	800
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		不妊治療申請延べ件数	件	260/260	227/260	214/260	/ 270	260
		単位あたりコスト		39.3	25.3	36.2		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

		項目	評価	評価に対する説明		
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	少子化、出産年齢の上昇傾向、女性の社会進出等による計画的な妊娠が求められる中、不妊治療のニーズは高まっている。医療機関が行う治療に対して費用助成を行う本事業は必要である。		
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○			
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○			
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△		平成28年度までは他市にはない全額助成を行ってきたが、平成29年度より3/4補助と減額になり、申請者数が減少した。平成30年度はほぼ横ばいで推移している。助成率については少子化対策として現行のまま維持し、今後も申請状況等の把握と国や京都府、他市町の動向の把握に努める。	
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○			
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○			
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○			出生数が横ばいであること、治療者の4割程度が妊娠に繋がっている状況からみて、有効であると判断する。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○			
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○			
目的及び指標等の達成状況に対する評価	福知山市の出生数は近年大きな変化はないものの減少傾向にある。今後も少子化対策として、引き続き制度の積極的な周知を図っていく。申請件数は近年減少傾向にあるが、人工授精を含む申請は増加傾向にあることをみると、より進んだ治療へと踏み込まれるケースが増えていることがみとれる。今後も、京都府の特定不妊治療の状況や妊娠に繋がった割合も加味して事業評価を行っていく。一般不妊治療申請者の1人あたり1年度平均助成金額は約4万円であるが、助成率が本人負担額の4分の3の額であり全額助成ではないこと、助成上限額に達する支給(4分の3の額が助成上限額を超える)もあることから、実際にかかる本人負担額は高額になっている。また、申請者の受診医療機関をみると、近隣市町村に留まらず、治療技術や治療内容の充実を求めて遠方の医療機関を複数回受診されるケースが多くあり、経済的支援のニーズが非常に高い事業である。					
今後の課題及び方向性	平成28年度までは他市にはない本人負担額全額助成を行ってきたが、平成29年度より3/4補助と減額になり、申請件数が減少した(平成28年度260件→平成29年度227件→平成30年度214件)。要因としては、平成28年度末に補助割合が変更することによる駆け込み申請が多かったためと分析する。助成率については、少子化対策として現行のまま維持し、事業実施する方向で検討する。また、今後も申請状況、出生数等の把握と国や京都府、他市町の動向の把握に努める。					

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	利用者の傾向としては、より早期に高額治療に移る人が増えていたため、一般不妊治療等の申請者数の減少を見込んでいる。助成額はH29年度の見直し以降、4分の3の助成額を継続実施している。今後も国、府、他市町の動向の把握に努める。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】